

11月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

総件数 9件

(内訳)

No.1 四日市市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について(議案第 53 号) …… 4 件

No.2 土木災害復旧事業費(河川復旧)(補正予算)について …… 5 件

* 合計6人 ・ 男性6人 (内訳：60歳代 2人、70歳以上 4人)
 ・ 女性1人 (内訳：70歳以上 1人)

* ご意見件数 ・ 1件… 5人、2件… 2人

11月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No. 1 四日市市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について（議案第 53 号）	
産業生活常任委員会	<p>1 国レベルで農業改革が叫ばれている状況下で条例の内容は疑問を感じる。国の定める法律に背くことは出来ないが、許された範囲内で改革をすることは出来る。例えば折角農業委員の数を減らしているのに新設された農地利用最適化推進委員を37人も置くのはどこに改革の気持ちが入っているのか理解に苦しむ。出来ることなら2つの役割を合せて1人の委員が持つとか何か工夫することにより全体の人数を削減する方法はないのか検討の余地はないのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">（男性 70歳以上）</p>
	<p>2 異議なし （男性 60歳代）</p>
	<p>3 結論：上記議案について賛成です。 1. 農業の問題は沢山あって市議会にて議論を重ねて頂きたい。（特別委員会を設置） 2. 一番の問題は、米生産者の経営が成り立たないこと。農機具、肥料等を考えると赤字経営である。国・JAに任せておくのはよくない。 3. 農業委員の意見も聞きながら四日市市独自の農業政策は打ち出せないものかと思う。</p> <p style="text-align: right;">（男性 70歳以上）</p>
	<p>4 (1)「農業委員会」と「農業利用最適化推進委員会」役割は、何ですか？ 新しく委員会を設定するので有れば明記すべきです。 (2)農業委員会は、昭和26年に制定された法律です。50年以上たった現在、農家及び耕作面積も大きく減少しているものと思われます。 「農業利用最適化推進委員」の定数は、まだ37名も必要ですか疑問です。 (3)委員の報酬及び費用弁済は、日額ですか月額ですか？ もし日額で有れば、1日何時間の会議か不明ですが、高額すぎるのではないですか。 世間一般の賃金体系を御存じですか？もっと市民目線で判断して下さい。</p> <p style="text-align: right;">（男性 60歳代）</p>

11月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No. 2 土木災害復旧事業費（河川復旧）（補正予算）について		
都市・環境常任委員会	1	河川復旧の補正予算の件 ←修復ヶ所に関し、①米洗川、②北小松町排水路、③他市内一円、とある。そもそも、補正予算は、自然災害等、予算できず・やむを得ず組むものだ。該当ヶ所の現場調査とその修復の見積もりをした、と想定されるが、この案の紙には、①・②・③で計1,6500万円、とある。①x円、②y円、③z円と内訳を記して予算提案すべきだ。（男性 60歳代）
	2	結論:賛成です。 1, 農地法に接触する場合を除き市が管理する河川の堤防等の復旧・補強工事は必要だ。 2, ただ、予算との関係も考慮しなければならないが、部分的に工事をしてもらっても工事をした所はよいが、しなかった部分の崩壊が起き被害をうけることを考慮すべきだ。 3, 市内の他の小さな河川も補修工事をして欲しい。（男性 70歳以上）
	3	米洗川の羽津地区護岸被害復旧及び北小松町排水路土砂撤去について、早急な工事実施を是非お願いしたい。（男性 70歳以上）
	4	羽津地区の住民であるので速やかに機能復旧をしていただく事は嬉しい事です。台風崩壊した場所を早く機能を復旧してもらおう事を希望致します。（女性 70歳以上）
	5	河川護岸、水路の方かいや土砂や砂堆積等、道路の被害が発生した時(場合)は市民の生命や財産を守らなければならないのですぐ予算を取り復旧に努めなければならない。 * この被害が秋から冬季に入り雨量が少ない時期でもあり早急に工事を行うべきである。 追記 ①米内川は50年以上前から、自分が消防団で活躍していた時で台風、集中豪雨時に何度か決壊の恐れや堤防上を溢れる(乗り越える)ことがあった。②米内川は幅が狭く、堤防の土手が低い。そのような川なのに川の内に花を植える場所を作ったり、水の流れを妨げるところがある。③米内川は幅が狭い堤防が低い所に上の山を切り拓いて台地、それに近年山を切り拓いてゴミ焼却場(貯水池有り)が出来て、雨期、台風、集中豪雨時の一旦水の時・・・一挙に米内川に流れて来る。 ・昔は山の中で地下に含んだり自然の貯水池があったが、今は台地はアスファルト道路、家ばかりで、どこにも水が溜まらない為に、一旦に道路、用水路を水が流れ、小さな川が危険、溢れるのである。それが米内川である。 * 米内川はこの10年間の内、5回も現在の様な崩壊があった。（男性 70歳以上）